

早期臨床体験実習Ⅱ

【Early Clinical Exposure Ⅱ】

担当責任者 早期臨床体験実習検討小委員会委員長

ねらい

高齢者福祉医療施設で医師・看護師・介護士・理学療法士など多職種が連携した医療支援の現場を見学(一部体験)し、地域での保健・福祉医療の重要性を理解する。

施設利用者の生活支援の現場を見学(一部体験)し、地域での在宅医療支援の重要性を理解する。

施設利用者の立場や気持ちを理解し、医療・生活支援の現場での医師の役割を学ぶ。

将来医師を目指す医学生としての、心構えや身につけるべき態度を学び、目標とする医師像を明確にし、今後の学習意欲の向上につなげる。

学修目標

1. 多職種の連携による医療・生活の現場を体験実習し、チーム医療の重要性を理解する。(VI-3, VI-4, VI-5)
2. 訪問看護ステーションの在宅医療、生活支援としての役割機能を理解する。(II-12)
3. 介護福祉施設の介護、生活支援、医療を通し、医師、医療チームの役割機能を理解する。(VI-3, VI-4, VI-5)
4. 高齢者デイサービスセンターでの生活上の介護や支援を通し役割機能を理解する。(II-12)
5. 短期入所施設(ショートステイ)での介護、生活支援、医療を通し、役割機能を理解する。(II-12)
6. 医学生としてふさわしい、身なり、態度で行動する。(I-5)
7. 将来医師となる自分が今後なすべきことを自覚する。(I-4, I-5)

事前事後学習の方法

1. 事前学習 準備授業で説明する注意事項を実習前に再度確認する。高齢者福祉医療制度について予習する。
2. 事後学習 実習中に経験した臨床的知識を確認し、自己学習の機会にする。

成績評価方法・基準

出欠状況(欠席は原則認めない)、実習態度、各職種からの評価、学修目標の理解度、レポートによって総合的に判定する。実習であるので皆勤が原則である。止むを得ない理由のない欠席・遅刻、服装の乱れ、態度不良、居眠り、積極性欠如などは不合格である。

○教科書

特に指定しない

○参考書

担当教員の指示に従う

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.26	火	5・6	早期臨床体験実習Ⅱ(準備授業・目標シート作成)	A	5,7,9	1,1,1	山本幸代 (医学教育担当)
11.8~12	月~金	1~8	早期臨床体験実習Ⅱ	〃	〃	〃	〃
11.16	火	5	早期臨床体験実習Ⅱ(振り返り授業・レポート作成)	〃	〃	〃	〃